

カドモール

施工説明書

このたびは、フクビ「カドモール」をご採用いただきまして有難うございました。
下記の施工説明をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

設計施工上の注意

- 本製品は、室内の“壁-壁”出隅専用です。それ以外には使用できません。
- 4Rより大きなアール出隅には使用できません。
- クロスやせっこうボードの紙に、はがれ、浮き、汚れ、ほこり等がある場合は必ず除去してください。
- カドモール25は接着施工。カドモール50は接着施工もしくはビス施工です。
- ビス施工の場合、ビスは下地(木・軽量鉄骨)に適した、さら頭のビスを使用してください(現場調達)。
- ビスの長さは木下地に対しては20mm以上、軽量鉄骨下地の場合は10mm以上かかる長さのものを使用してください。
- 接着剤は、必ず指定品(弊社カタログ掲載品)をご使用ください(別売部材)。
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。

■使用部材

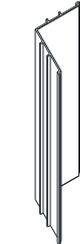
カドモール25



カドモール50

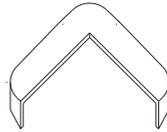


カバー材

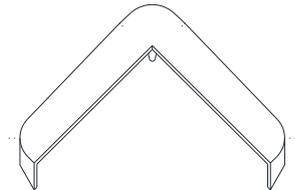


ベース材

カドモール25キャップ



カドモール50キャップ

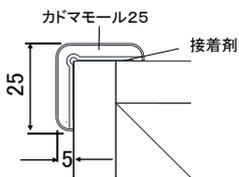


必要工具部材・部材 【工具】 巻尺、のこぎり、シーリングガン(接着剤塗布時)、電動ドリル(ビス施工時)

※現地調達 【部材】 マスキングテープ(接着施工時)、ビス(さら頭)(ビス施工時)、コーキング材

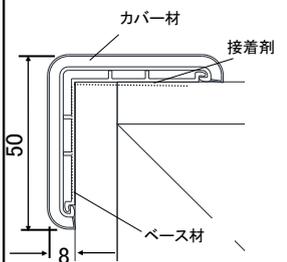
■参考納まり図

カドモール25

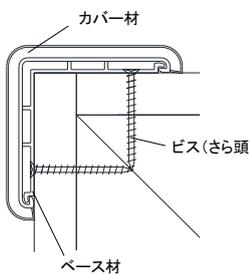


接着施工

カドモール50

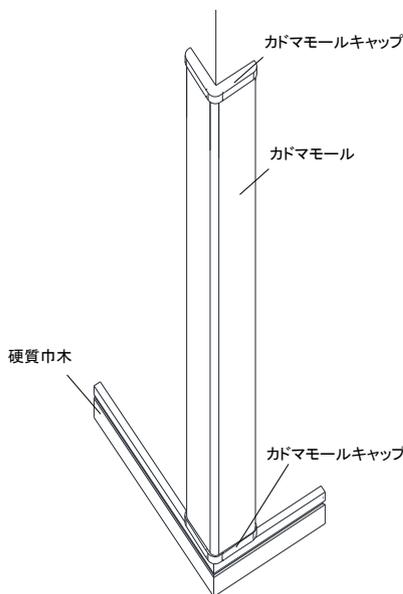


接着施工



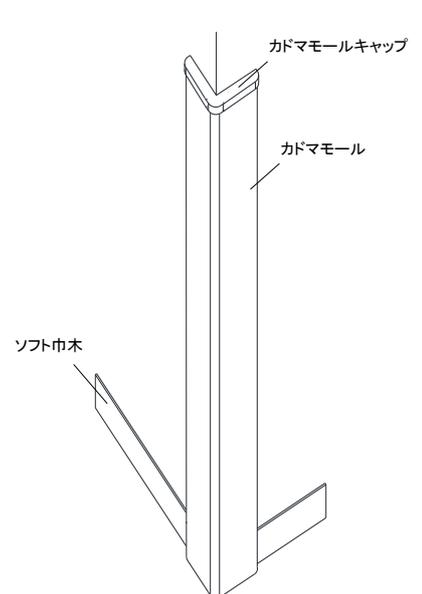
ビス施工

硬質巾木との取り合い



硬質巾木勝ち

ソフト巾木との取り合い

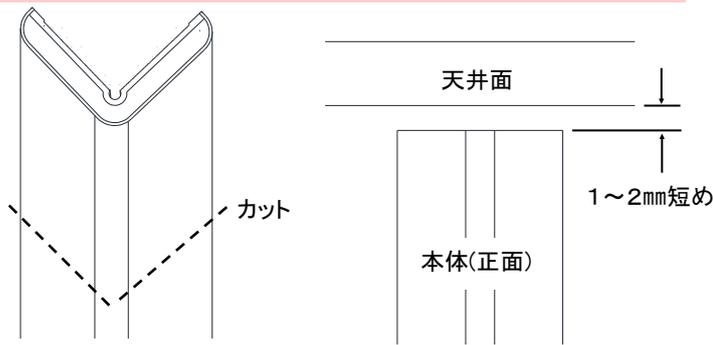


カドモール勝ち

【カドモール25 接着施工】

①本体を必要な長さにカットする。

※天井面まで取り付ける場合は1~2mm短めにカットする。

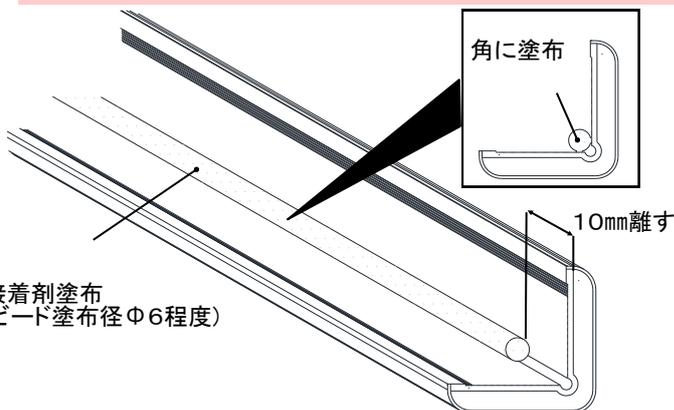


②本体裏面に接着剤を塗布する。(ビード塗布径Φ6)

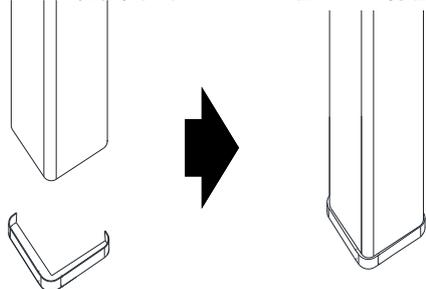
※接着剤のはみ出しを防ぐため、小口端部から10mm離して塗布する。

※硬質巾木との取り合いの場合はカドモールの下部にあらかじめカドモール25キャップをはめてください。

注意 ※約5~10分で硬化し始めます。塗布後すぐに手順③をおこなってください。

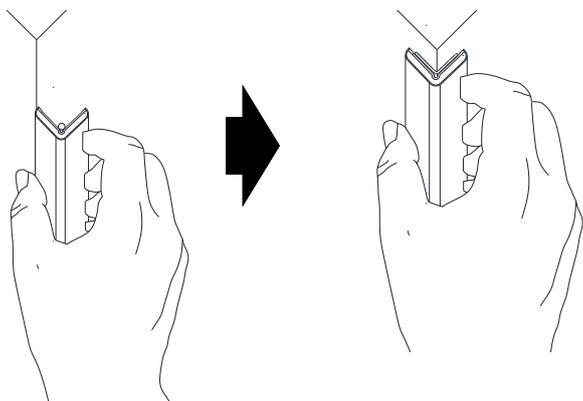


※硬質巾木との取り合いの場合

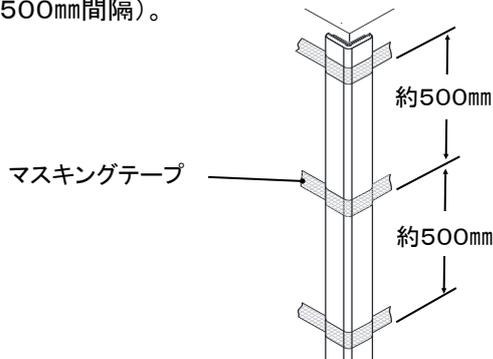


下部にキャップをあらかじめはめておく。

③接着剤をつぶしながら本体を出隅部に取り付ける。



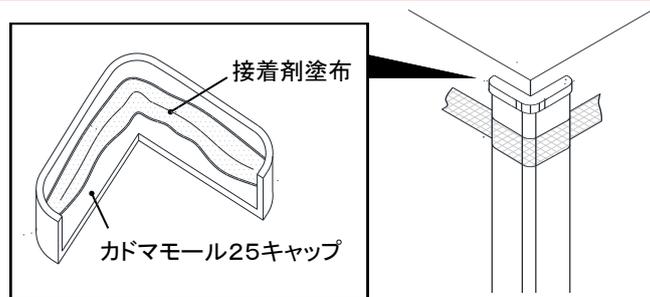
④接着剤が硬化するまでマスキングテープで本体を仮固定する(約500mm間隔)。



⑤小口面が見える場合はカドモール25キャップを使用します。カドモール25キャップの裏面に接着剤またはコーキング材をヘラなどで塗布し、本体小口にはめて固定する。

※壁出隅がアール形状(4R以下)の場合、壁とキャップの間に隙間が生じますので、コーキング材で隙間を埋めてください。

※接着剤(コーキング材)が固まるまで、カドモール25キャップは外れやすいので、ご注意ください。



⑥マスキングテープをゆっくりはがす。

※完全硬化時間は23°C・50%RHで約1~2日後です。(詳細は接着剤裏面のラベル参照)

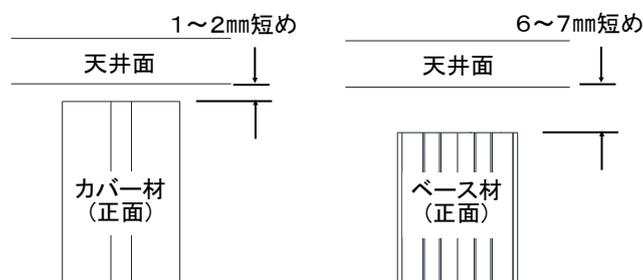
※硬化後にテープをゆっくりはがしてください。尚、室内環境にもよりますが、約2時間である程度接着します。その接着具合を確認した上でテープをはがすこともできます。その際は壁面から本体が外れないように本体を手で押さえながらゆっくりテープをはがしてください。

【カドモール50 接着施工】

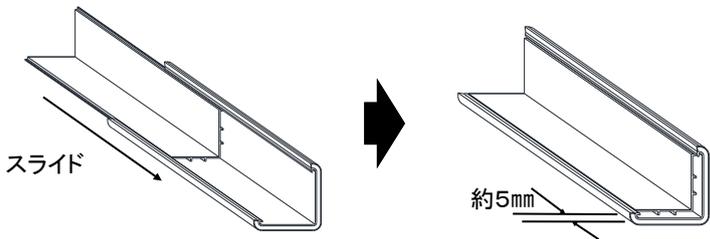
①本体(カバー材、ベース材)を必要な長さにカットする。

※天井面まで取り付ける場合、カバー材は天井高さより1~2mm短めに、ベース材は6~7mm短めにカットする。

※ベース材はカバー材よりも5mm程度短めにカットする。



②カバー材にベース材を差し込んで、スライドさせ組み合わせる。

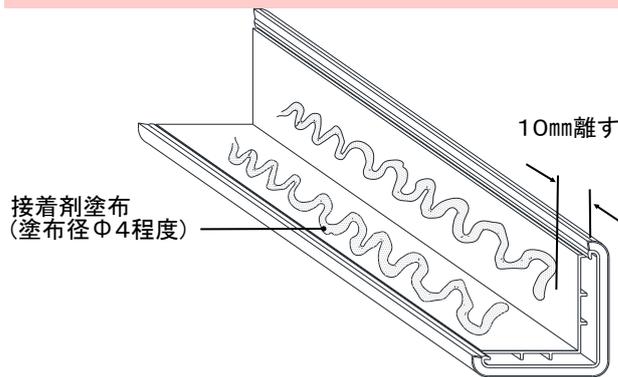


③ベース材裏面に接着剤を塗布する。(塗布径Φ4)

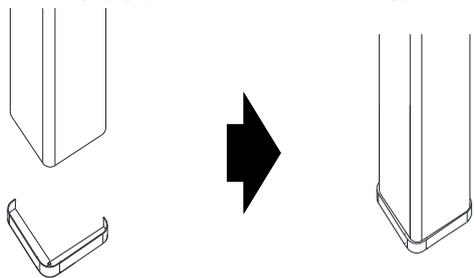
※接着剤のはみ出しを防ぐため、小口端部から10mm離して塗布する。

※硬質巾木との取り合いの場合はカドモール50キャップの下部にあらかじめカドモール50キャップを取付けてください。

注意 ※約5~10分で硬化し始めます。塗布後すぐに手順④をおこなってください。

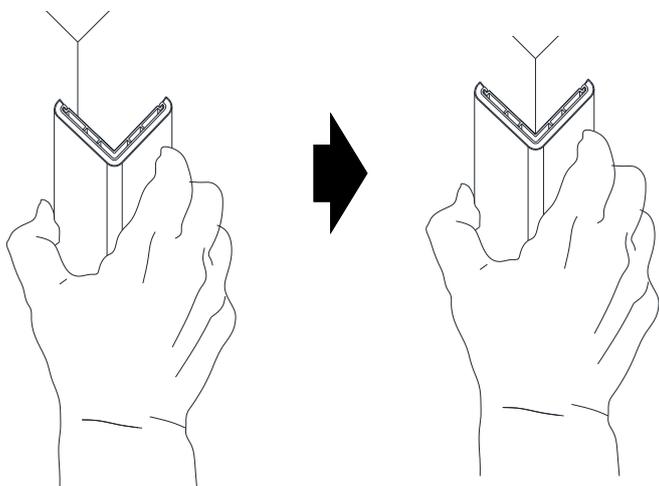


※硬質巾木との取り合いの場合

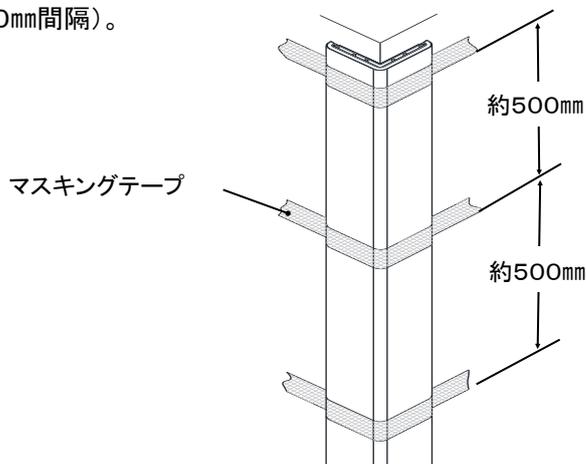


下部にキャップをあらかじめはめておく。

④接着剤をつぶしながら組み合わせたカバー材とベース材を出隅部に取り付ける。

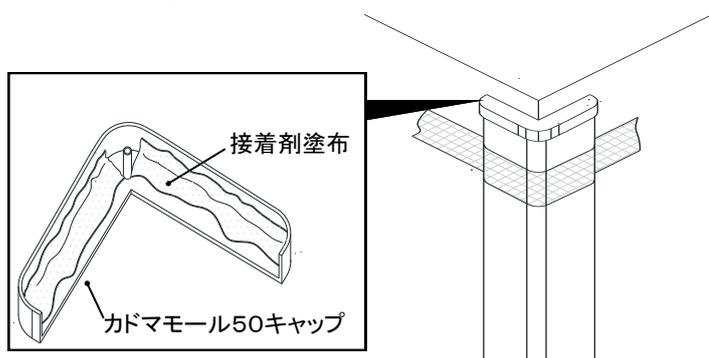


⑤接着剤が硬化するまでマスキングテープで本体を仮固定する(約500mm間隔)。



⑥本体小口面が見える場合はカドモール50キャップを使用します。

カドモール50キャップの裏面に接着剤、またはコーキング材をヘラなどで塗布し本体小口にはめて固定する。



※尚、壁出隅がアール形状(4R以下)の場合、壁とキャップの間に隙間ができるので、コーキング材で隙間を埋めてください。

※接着剤(またはコーキング材)が固まるまで、カドモール50キャップが外れやしないよう、ご注意ください。

⑦マスキングテープをゆっくりはがす。

※完全硬化時間は23℃・50%RHで約1~2日後です。(詳細は接着剤裏面のラベル参照)

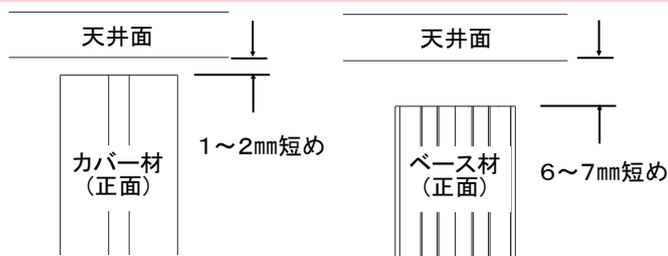
※硬化後にテープをゆっくりはがしてください。尚、室内環境にもよりますが、約2時間である程度接着します。その接着具合を確認した上でテープをはがすこともできます。その際は壁面から本体が外れないように本体を手で押さえながらゆっくりテープをはがしてください。

【カドモール50 ビス施工】

①本体(カバー材、ベース材)を必要な長さにカットする。

※天井面まで取り付ける場合、カバー材は天井高さより1~2mm短めに、ベース材は6~7mm短めにカットする。

※ベース材はカバー材よりも5mm程度短めにカットする。



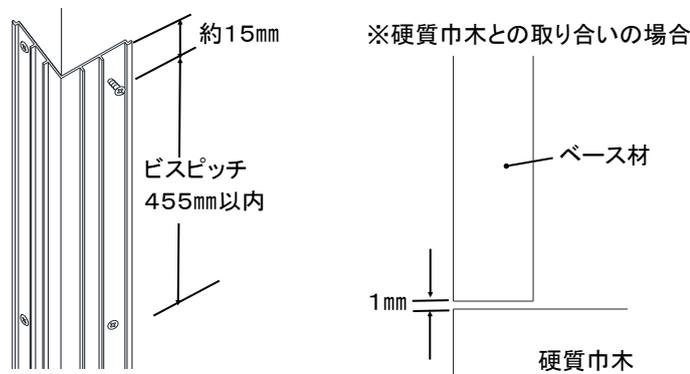
②ベース材を下地にビスで取り付ける。

※ベース材は壁面にしっかりと押さえつけながらビス留めしてください。浮いているとカバー材を取り付けた際に、壁との間に隙間が生じます。

※ビス留めのピッチは455mm以内となるようにしてください。

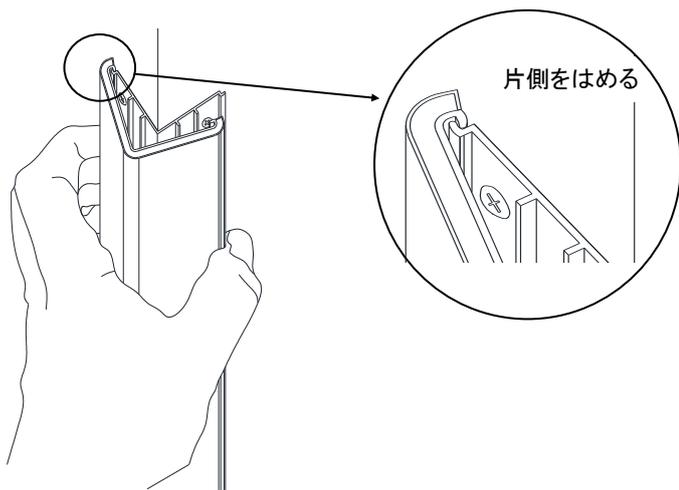
※小口端部から約15mm位置にビス留めしてください。

※硬質巾木との取り合いの際は、硬質巾木とベース材の間に1mmの隙間を設けて施工してください。

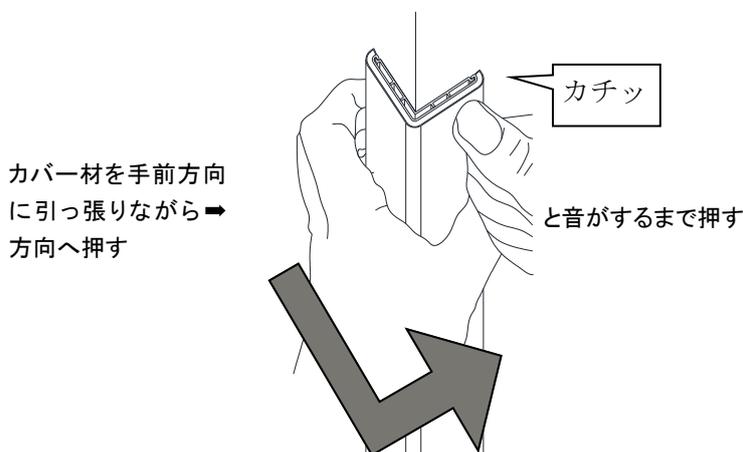


※ビスの長さは木下地に対しては20mm以上、軽天下地の場合は10mm以上かかる長さのものを使用してください。

③カバー材の片側をベース材にはめる。

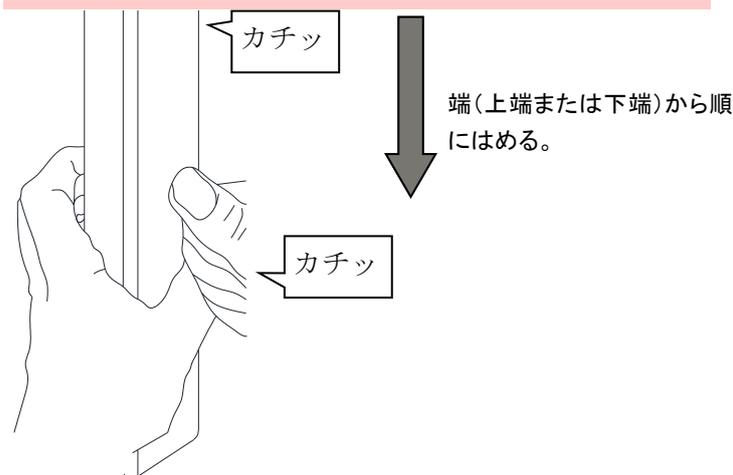


④ベース材にカバー材をはめ合わせます。カバー材がベース材にはまる際にカチッという音がします。



⑤端(上端または下端)から順にはめる。

※カバー材全体をはめ合わせて、外れている部分が無いようにしてください。(カバーを上下スライドできれば、全体がきちんとはまっています。)

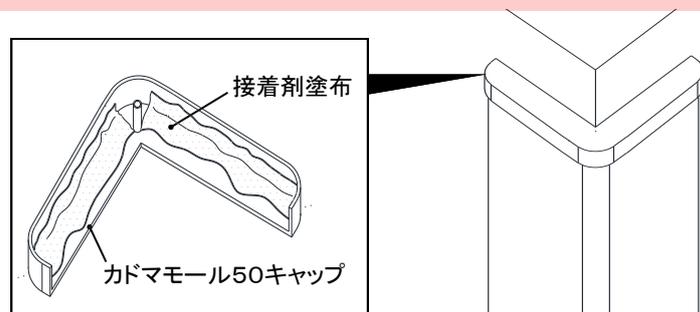


⑥小口面が見える場合はカドモール50キャップを使用します。カドモール50キャップの裏面に接着剤またはコーキング材をヘラなどで塗布し、本体小口にはめて固定する。

※尚、壁出隅がアール形状(4R以下)の場合、壁とキャップの間に隙間ができるので、コーキング材で隙間を埋めてください。

※接着剤(またはコーキング材)が固まるまで、カドモール50キャップが外れやないように、ご注意ください。

※硬質巾木との取り合いの場合はカドモールの下部に、突起を折って取り除いたカドモール50キャップをはめてください。



※硬質巾木との取り合いの場合

